

平成29年度 第2回広島郷心会役員会

2017年12月5日(火)オリエンタルホテル広島において、平成29年度第2回広島郷心会役員会を開催しました。廣田会長((株)広島銀行 取締役専務執行役員)の開会の挨拶、広島県の佐伯商工労働局長の来賓挨拶のあと議事に入り、第1号議案「平成29年度役員の変更」、第2号議案「平成29年度事業経過報告と進捗について」を審議し、原案どおり承認されました。

マツダグループを代表して、マツダ(株)の稲本取締役専務執行役員の来賓挨拶では、今年度上半期のグローバル販売台数は、対前年1%増の78万3千台と過去最高の記録となったが、米国での販売立て直しが近々の課題と認識している。その中で国内の販売台数は対前年4%増の9万6千台となり、皆様方のお蔭で実績を残すことができました、とのお礼を述べられました。

続いて、昨今自動車産業では100年に一度の大変革の時代を迎えていると言われており、マツダは、8月に2030年を見据えた技術開発の長期ビジョン「サステナブル Zoom-Zoom宣言 2030」を発表しました。CO₂削減のためのEVには解決すべき様々な問題を抱えている中で、マツダは内燃機関を磨き続け、電動化技術を積み重ねていく戦略であるとのこと説明がありました。

最後に、田村副会長(広島ガス(株) 代表取締役会長)の開会の挨拶で役員会を無事終了しました。

役員会後の懇親会では、廣田会長の開会の挨拶、広島市の久保下経済観光局長の乾杯のご発声で始まり、大変有意義な交流の場となりました。渡部副会長(中国電力(株) 代表取締役 副社長執行役員)からの中締めのご挨拶では、CX-8の応援を含め広島郷心会の発展、広島県経済の活性化を願って一本締めでお開きとなりました。



平成29年度第2回役員会風景



廣田会長 役員会開会挨拶
(株)広島銀行 取締役専務執行役員



来賓挨拶
広島県 佐伯商工労働局長



来賓挨拶
マツダ(株) 稲本取締役専務執行役員



田村副会長 役員会閉会挨拶
(広島ガス(株) 代表取締役会長)



廣田会長 懇親会開会挨拶
(株)広島銀行 取締役専務執行役員



乾杯挨拶
広島市 久保下経済観光局長



懇親会風景



渡部副会長 中締め挨拶
(中国電力(株) 代表取締役 副社長執行役員)

企業リスクを軽減する交通安全セミナー

8月3日(木)今年度の新しい取り組みとして、「企業リスクを軽減する交通安全セミナー」を広島商工会議所で開催し、68会員80名のご参加をいただきました。

今回、参集いただきたい方として総務担当者、車両管理責任者及びマツダの安全思想に基づく車両開発に興味ある方をご案内したことで、目的意識をもってご参加いただいた方が多くみられました。

当日は3部構成のセミナーで、①「マツダの安全思想と安全思想に基づく車両開発」(講師:マツダ(株) 営業開発部主幹 長瀬 芳武氏)、②「巡回サービスに見る車両管理の現状」(講師:マツダ(株) 法人営業部 アシスタントマネージャー 持田 節雄氏)、③「交通安全のための管理者研修会」(講師:(株)インターリスク総研 シニアコンサルタント 貝塚 清士氏)の3名様に講演いただきました。

特に③部の貝塚 清士氏は、日本交通心理学会認定の主任交通心理士の資格をお持ちで、何故そこで事故が起きたのか、何故そのような行動をするのかを分析し、今までの形骸化した交通安全教育から脱し、人間行動から交通事故を減少させるべく管理者の皆さんを指導されています。事故を防ぐためには、事故を起こさせない心理状況に置くことが大切であり、そのためにはどう行動したら良いかをお話いただきました。

多くの受講者からは、認知の遅れやミスから事故につながるが、それらはストレスからくる焦りによるものであり、ストレスから自己を解放することで、事故からも解放されるということをご共有しました。



